



## 8月度 ⑧ なるほど そうか やってみよう!

<儲けを管理する:その5:管理会計(1)>

👉 管理会計とは 『数字を経営に生かすための会計』

会計には大きく分けると2つある。

(1)財務会計(税務会計):社外向けの会計(金融機関・税務署等)

(2)管理会計:自社の経営に活かすために作成する。社内向けの会計。経営者・幹部は管理会計の情報をもとに自社の現状を把握したり、今後の戦略・対策を立てることができる。  
簡単に言うと、**マネジメントするための会計**ということができる。

<今年の3月号 ③なるほど そうか やってみよう!を見るとこの表をもっと理解できます>

①売上高 1,200	②売上原価 840	
	③粗利益 360 (30%)	④経費 300
	利益 60	

←店の内容です

\*利益:60を100にして、もっと利益を出したい。

あなたならどうしますか? 何をしますか?

方法は3つしかありません。

- ①売上高を上げる ②売上原価を下げる(③粗利益率を上げる)  
④経費を下げる

経営者が意思決定をして、業績を上げるためには3つのプロセスが必要です。

- (1)『知る』お店の現状を知る 管理会計の役目です。毎月10日までにつくりましょう。  
(2)『選ぶ』何をするかを決める 理想は1カ月先・2カ月先・3カ月先までつくりましょう。  
(3)『行動する』決めたことを実行する:あなたのリーダーシップ・実行力の出番です。

管理会計は社内向けの資料ですから、**正確性よりもスピードが優先**します。

- ①売上高:どんなお店でもすぐ集計できます。万単位で十分です。  
②粗利益:会計ソフト(MiT・ポスなど)を導入しているお店はすぐ集計できます。  
③経費:この集計がいちばん時間がかかると思います。とくに、時間外手当など毎月不規則に発生する費用をいかに早く集計するかがポイントになります。毎年大きな変化がなければ月ごとに固定します。(年間合計が合致すればOKです)

利益:60を100にするにはどうしたらよいかを見てみましょう。

- ①売上高のアップだけで達成する場合(粗利益率と経費は同じ)  
 $(\text{経費}300 + \text{利益}100) / \text{粗利益率}30\% = 400 / 30\% = 1,333$  \*売上高**1,333** 110.8%アップ  
②粗利益率のアップだけで達成する場合(売上高と経費は同じ)  
 $(\text{経費}300 + \text{利益}100) / \text{売上高}1,200 = \text{粗利益率}33.3\%$  \*粗利益**400** 3.3%の粗利益率アップ  
③経費の削減だけで達成する場合(売上高と粗利益率は同じ)  
 $\text{粗利益}360 - \text{利益}100 = \text{経費}260$  \*経費**260** 40%の経費削減

実際の実務では①②③を組合わせて、目標を達成する。

管理会計を利用すると、事前に何をどう組み合わせればよいかを知ることができる。

ポイントは『3カ月先行管理』だ。3カ月先まで先行できれば今何をしなければならぬか余裕をもって準備できる。

次月は管理会計の実際のフォーマットに数値を入れて説明したい。